

**音楽科の授業を生活とつなぐためにポピュラー音楽を取り入れた授業実践****～学習内容と対応させた効果的な取り入れ方～**

音楽科の授業において、教科書教材と児童にとってなじみの深いポピュラー音楽とを比較したり関連付けたりして考える活動を通して、児童の興味・関心を高めながら学びを深め、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力の育成を目指して実践を行った。

**1 実践の具体****① 教科書教材を学習した後でポピュラー音楽を取り入れた実践**

題材の終末において、授業で学んだ視点を基にポピュラー音楽を鑑賞することで、その特徴などが身近な音楽にも生かされていることを知り、教科書教材の学びを深められるようにした。

**② ポピュラー音楽を教科書教材の学習の導入に取り入れた実践**

ポピュラー音楽を題材の導入で扱うことで、子どもたちの興味・関心を高め、身近な曲でも使われている特徴について学んでいきたいという意識をもちながら教科書教材に入っていけるようにした。

**③ ポピュラー音楽を一つの教材として取り入れた実践**

人気の映画に使われているポピュラー音楽を扱い、既習の知識を生かしながら鑑賞し、映像作品において登場人物の心情を表すために音楽が効果的に使われていることに気付くことができるようにした。

**2 実践の成果と今後の方向性**

実践についてのアンケートを取ったところ、ポピュラー音楽を取り入れた授業が好きだと答えた割合が約98%であり、教師の見取りとしてもほぼ全ての子どもが強く関心をもちながら授業に取り組んでいることが感じられた。また、学んだことを家などの授業外の場面で音楽を聴く際にも生かそうと思うと答えた割合は約85%であり、学習指導要領の「生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる」ことに、多くの子どもが意欲的になっていることが伺える。今後、様々な教材との関連を図ったり、普段の授業から短い時間を使って継続的にポピュラー音楽を取り入れる方法を模索していったりすることで、さらに実践を進めていきたい。